

本社エントランスに日鉄の高意匠性EG鋼板

三和実業

東海地区有力コイルセンターで製罐や造管加工も手掛ける三和実業（本社・愛知県東海市、社長・中田貴之氏）は、本社のエントランス壁面に日本製鉄の高意匠性電気亜鉛めっき鋼板（EG）フェルーチェ（Feluce）を使用した。自社グループ会社でレーザー加工を行い、重厚でシックな空間を演出。製品PRにも一役買っている。



フェルーチェを採用した
本社エントランス前に立
つ中田社長

フェルーチェは、鋼板表面（EGL）で製造。20面のめっき層自体にヘアラ 20年度には、日本製鉄のイン模様の加飾を施すとい 薄板では初となる「グッド ー従来なかった手法で意匠 デザイン賞」を受賞した。性を高めている。金属なら 家電のほか、産業機器やではの質感を生かしつつ、 鋼製家具、内装建材向けに特殊な薄膜の樹脂コートで 拡販を展開。これまでも耐指紋性・耐薬品性などを オフィスビル、コインラン 高め、亜鉛ニッケル合金に ドリー用洗濯機器、前橋市より耐食性も合わせて向上 議会庁舎のエレベーターホ させている。ブラックとシ ールなどで採用実績を上げ ルバーの2色があり、生産 ている。

ライン上で鋼板に加飾する 三和実業の本社屋は建て ことができる瀬戸内製鉄所 から10年が経ち、壁のク 広畑地区の電気めっきライ ロス貼り換えを検討してい

自社でレーザー加工、製品PRにも一役

た。その際「フェルーチェ 0サイズに切断。約47枚 が使えないか」と軽いノリ （重量240kg）をエン で中田社長が考えたのが採 トランスの壁一面に敷き詰 用のきっかけだった。コイ めた。

ルセンター、加工業の社屋 中田社長は「クロスでは では初めての採用となる。 表現できない重厚感を出す 母材のブラック色のフェ ルルーチェ（板厚0・8）を ことができた。商売でフェ ルルーチェは扱ってこなか 同社の子会社で製罐加工や たが、ホテルやマンション 鋼板加工販売を手掛ける美 のエントランス、リフォー ヶ鋼板加工のファイバーレ ム案件などにも使えるので ーザ加工機で900×90 はないか」と印象を語る。

商品ロゴもさりげなく
PR



フェルーチェは鉄素材の ため、人工大理石などと異 なり産業廃棄物にならない。また製造時のCO₂排出 量低減にも寄与しており、 意匠性だけでなく環境面にも配慮している。中田社長 は「自社で施工実績も出せたので、もし実商売で扱っ ことがあれば、自社の加工 ノウハウも含めて積極的に PRしていきたい」と将来 を見据える。

